

防災講演会

～東日本大震災の教訓と災害時に中学生ができること～

日時：平成25年11月22日（金） 13：30～15：00

会場：大崎市立鹿島台中学校体育館 ※駐車場あります



一昨年3月11日に発生した東日本大震災は、東北から関東の広域にわたり甚大な被害をもたらしました。

その中で、釜石市が取り組んでいた防災教育が小中学生99.8%の生存率と「想定外」を生き抜く力を身につけさせました。今回の講演会は、元釜石市消防防災課長の末永正志氏をお迎えして、「災害時釜石市はどのように対応したのか」「『釜石の奇跡』の立役者の一人として、どのように防災教育に取り組んできたのか」などを中心にご講演いただきます。

近年、私たちの周りでは地震の他ゲリラ豪雨、竜巻など自然災害が多発しています。

災害時に中学生ができること、その上で大人ができることを共に考える機会にしてもらいたいと考えています。

講師紹介

講師：末永正志（すえながまさし）氏

消防庁「市町村災害対策支援アドバイザー」。

平成18年4月から3年間釜石市消防防災課長を勤める。

現在、社団法人岩手県交通安全協会講習部沿岸運転免許センター主任指導員。

平成20年度文部科学省所管の防災教育支援事業を全国の自治体で初めて導入し、

教育委員会と連携し防災教育を推進して、群馬大学大学院片田敏孝教授と共に、

3.11東日本大震災における「釜石の奇跡」を起こす基盤作りに尽力。

平成24年4月から日本ボーイスカウト岩手連盟理事長（所属：沿岸地区釜石第2団）

日本連盟リーダートレーナー。県連盟コミッショナー等歴任。

「安全教育・安全対策・安全管理、そして危機管理は全てスカウト活動を通して学んだ」が持論。



主管：大崎市立鹿島台中学校

共催：大崎市鹿島台家庭教育推進協議会

後援：大崎市教育委員会鹿島台支所・鹿島台地区区長会

鹿島台まちづくり協議会・鹿島台連合婦人会

日本ボーイスカウト宮城県連盟